



様式第1 (第3条関係)

※受理年月日	年 月 日
※受理番号	
※備考	

### 大規模小売店舗届出書

令和8年6月5日

鳥取県知事 様

株式会社コスモス薬品  
代表取締役 横山 英昭  
福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号

大規模小売店舗立地法第5条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

名称 ドラッグコスモス鹿野店  
所在地 鳥取県鳥取市鹿野町岡木字下荒堀255番1 外

2 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

小 売 業 者		住 所
氏名又は名称	代表者 (法人の場合)	
株式会社コスモス薬品	代表取締役 横山 英昭	福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号

3 大規模小売店舗の新設をする日

令和9年2月6日

4 大規模小売店舗内の店舗面積の合計

1, 417m<sup>2</sup>

5 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

位 置	収容台数
建物敷地内 [資料-3 平面図兼配置図上・駐車場]	64台

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

位 置	収容台数
建物東側 [資料-3 平面図兼配置図上・駐輪場]	10台

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

位 置	面 積
建物東側 [資料-3 平面図兼配置図上・荷さばき施設]	40m <sup>2</sup>

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

位 置	容 積
建物内東側 [資料-3 平面図兼配置図上・廃棄物等保管施設]	11.68m <sup>3</sup>

6 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻  
開店時刻 午前9時 閉店時刻 午後10時

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯  
午前8時30分～午後10時30分

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

駐車場No.	出入口の数	位 置
駐車場	3箇所	建物敷地東側及び北側 〔資料-3 平面図兼配置図上・出入口No.1～出入口No.3〕

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯  
24時間

大規模小売店舗立地法第5条第2項に基づく添付書類

1 法人にあってはその登記簿の謄本、個人にあってはその住民票の写し

別添のとおり

2 主として販売する物品の種類

小売業者名	主として販売する物品
株式会社コスモス薬品	住・生活関連用品、医薬化粧品、食料品等

3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

(1) 建物配置図

別添「資料-3 平面図兼配置図」参照

(2) 各階平面図

別添「資料-3 平面図兼配置図」参照

4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

(1) 指針による必要駐車台数計算式

(端数処理：小数点以下四捨五入)

項目	事項・数値等	各事項算出のための計算式等
地区の区分	その他地区	(理由：無指定地域)
S：店舗面積	1.417千㎡	
A：店舗面積当たり日来店客数原単位	1,057.49人/千㎡	人口40万人未満・1,100-30S (S<5)
B：ピーク率	14.4%	
L：駅からの距離	1,500m	駅名 JR山陰本線 浜村駅
C：自動車分担率	70%	人口10万人以上40万人未満
D：平均乗車人員	2.0人/台	店舗面積10,000㎡未満
E：平均駐車時間係数	0.6299	店舗面積10,000㎡未満・(30+5.5S)/60
必要駐車台数	48台	A×S×B×C÷D×E

(2) 特別な事情による駐車台数の算出

該当なし

(3) 駐車場の分散確保の有無

駐車場の分散確保の有無	理由等					
有・ <input checked="" type="radio"/>	建物敷地内において指針で求める必要駐車台数を確保しており、計画している駐車場形式及び駐車場出入口の数や位置について、周辺道路の交通に影響が少ないと考えられるため。					
借上 駐車場の 場合	<table border="1"> <tr> <td>駐車場名</td> <td rowspan="4">該当なし</td> </tr> <tr> <td>設置者・管理者</td> </tr> <tr> <td>契約・利用形態 (専用、優先、提携等)</td> </tr> <tr> <td>来店客が駐車可能な台数 (算出根拠)</td> </tr> </table>	駐車場名	該当なし	設置者・管理者	契約・利用形態 (専用、優先、提携等)	来店客が駐車可能な台数 (算出根拠)
駐車場名	該当なし					
設置者・管理者						
契約・利用形態 (専用、優先、提携等)						
来店客が駐車可能な台数 (算出根拠)						

(4) その他の駐車場の状況

[従業員等（業務用を含む）駐車場]

事 項	有無の別	当該小売店舗駐車場と 共用・別途の別	収容台数	備 考 (従業員の雇用状況や利用状況など駐車台数算定の根拠等)
従業員用駐車場	(有)・無	共用・(別途)	22台	自動車通勤予定従業員数より

[併設施設の駐車場]

ア オフィス・マンション等、小売店舗とは利用者が独立して考えられる併設施設  
該当なし

イ 飲食店、銀行ATM、クリーニング、映画館、ボーリング場、ゲームセンター、温浴施設等、小売店舗の集客に影響を与える蓋然性を有する併設施設  
該当なし

ウ 小売店舗がその施設の一部となるような小売店舗以上の集客力を有する併設施設（小売店舗が大規模なアミューズメント施設や博覧会施設の一部であるような場合）  
該当なし

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

(1) 駐車場の構造

駐 車 場 の 位 置	構 造
建物敷地内〔資料－3 平面図兼配置図上・駐車場〕	建物外平面駐車場（自走式）

(2) 駐車場の自動車の出入口の形式

①駐車場の入庫処理能力

・自走式平面駐車場で発券ブースの設置がないため、該当なし。

②敷地内駐車待ちスペース

出入口の場所No.	駐車待ちスペースの有無	実際に設置する駐車待ちスペース	発券ブースの有無	必要駐車待ちスペース	算出根拠等、駐車待ちスペース「無」の場合は、その理由対策
出入口No.1	無	0m	無	—	駐車場出入口にはゲートや発券ブースの設置予定がなく、入庫処理時間がかからないため。
出入口No.2	無	0m	無	—	
出入口No.3	無	0m	無	—	

(3) 来客の自動車の方向別台数の予測の結果等

①現状の平日、休日（日曜）それぞれの交通量調査の結果

調査年月日	令和8年3月15日（日）8：00～21：00 令和8年3月16日（月）8：00～21：00								
調査場所	【交差点No.1（岡木交差点）】主要地方道郡家鹿野気高線×市道会下上光線 別添「資料-4 案内経路図」参照								
調査方法	<p>①路線状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査交差点に接する道路を主体に計画地を中心とした半径1kmの範囲で来店者が利用すると考えられる道路のレーン構成・道路幅員等の構造上の基礎調査。</li> </ul> <p>②交差点形状調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査交差点の交差点形状調査。</li> </ul> <p>③交差点制御状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査信号交差点の信号現示階梯・運用秒時（調査時間内の毎正時にストップウォッチを用いて計測）。</li> </ul> <p>④交差点交通流量調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査交差点において自動車、自転車及び歩行者等の交通量を計測。</li> <li>自動車交通量（調査交差点において自動車交通量を方向別、時間帯別及び車種別にマニュアルカウンターを用いて計測し、1時間ごとに記録）。</li> <li>自動車分類は、大型車・普通乗用車・二輪車の3分類とし、以下の区分とした。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【車種区分表（3区分）】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大 型 車</td> <td>1, 2, 8, 9, 0ナンバー</td> </tr> <tr> <td>普 通 車</td> <td>3, 4, 5, 6, 7, 8ナンバー</td> </tr> <tr> <td>二 輪 車</td> <td>原動機付き自転車を含む</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車及び歩行者交通量（調査交差点において道路を横断する自転車及び歩行者交通量を時間帯別にマニュアルカウンターを用いて計測し、1時間ごとに記録）。</li> </ul>	種 別	内 容	大 型 車	1, 2, 8, 9, 0ナンバー	普 通 車	3, 4, 5, 6, 7, 8ナンバー	二 輪 車	原動機付き自転車を含む
種 別	内 容								
大 型 車	1, 2, 8, 9, 0ナンバー								
普 通 車	3, 4, 5, 6, 7, 8ナンバー								
二 輪 車	原動機付き自転車を含む								
調査結果	別冊資料「ドラッグコスモス鹿野店 交通処理計画報告書」参照								

②開店後の周辺道路の交通量の予測

予測方法、根拠等	<p>【予測方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模小売店舗立地法の指針及び交通対策に関するケーススタディ（平成12年12月：通商産業省）に従い、上記交通量調査結果を基に予測を実施。</li> </ul> <p>【予測根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商圈範囲と主要道路網から来店方面別区域を設定し、その区域内世帯数構成比から来店方面比率を算出した。</li> <li>また、開店後交通量は、当該店舗に関連する来店帰宅需要交通量を現況交通量に加えたものとする。</li> </ul>
予測結果	別冊資料「ドラッグコスモス鹿野店 交通処理計画報告書」参照

## 6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

- (1) 周辺見取図に来客の自動車の案内経路、方法を表示した図面  
別添「資料-4 案内経路図/資料-5 動線計画図」参照
- (2) その他配慮した事項

項目	具体的な内容
案内表示の設置 (看板等)	配置場所：別添「資料-5 動線計画図」参照 内容等：建物敷地北東側角地に広告塔（案内表示看板）を設置する。
ちらし等の配付	・オープン時など多くの来店車両が見込まれる際には、新聞折り込みチラシに案内経路図を掲載することで、事前に情報提供を行う。
交通整理員の配置	配置場所：駐車場の出入口付近に配置する。 別添「資料-5 動線計画図」参照 配置人数：3名程度（状況に応じて適宜増員する） 配置日時：午前8時30分～午後8時00分（オープン時のみ）
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの来店車両が見込まれ、駐車場不足が懸念される際には、従業員用駐車場を来客用として開放することで、駐車需要の充足を図る。</li> <li>オープン時対策として、地元警察署と事前に協議を行い、来店車両の誘導及び歩行者の安全対策に努める。</li> <li>オープンに伴って来店車両により周辺道路の交通流に変化が生じ、周辺地域の生活道路に渋滞等の影響が生じた場合には、関係機関と協議を行い、必要な対策を講じていく。</li> </ul>

## 7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

搬出入車両の車種・大きさ	搬出入時間帯	搬出入車両数	平均的な荷さばき処理時間
4t車	24時間	3台	20分
ピーク時の搬出入車両の台数		1台	

時間帯	到着台数		
	4t車	4t車	
6:00～7:00	1台	0台	
7:00～8:00	0台	0台	
8:00～9:00	1台	0台	
9:00～10:00	0台	0台	
10:00～11:00	0台	0台	
11:00～12:00	0台	0台	
12:00～13:00	0台	1台	
13:00～14:00	0台	0台	
14:00～15:00	0台	0台	
15:00～16:00	0台	0台	
16:00～17:00	0台	0台	
17:00～18:00	0台	0台	
18:00～19:00	0台	0台	
19:00～20:00	0台	0台	
20:00～21:00	0台	0台	
21:00～22:00	0台	0台	
		合計	3台

※荷さばき車両の駐車スペースは別添「資料-5 動線計画図」に示す。

※搬入は営業時間外に実施する。

騒音対策として、夜間の搬出入車両は後進警報ブザー音を切れる車両とし、ブザー音を切るよう作業員に周知するとともに、アイドリングの禁止を徹底させる。

8 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

遮音壁の有無	遮音壁の高さ	遮音壁の位置
無	—	—

9 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

No.	項 目		設置の有無	稼働時間帯	位 置	
	種 類	形 式				
1	室外機1	ROA-RP403HS	有	8:30~22:00	R階部(6.8m)	資料-6
2	室外機2	ROA-RP403HS	有	8:30~22:00	R階部(5.9m)	資料-6
3	室外機3	ROA-RP1601H	有	8:30~22:00	R階部(6.1m)	資料-6
4	室外機4	ROA-RP503HS	有	8:30~22:00	R階部(5.9m)	資料-6
5	室外機5	ROA-AP2807HS	有	8:30~22:00	R階部(6.4m)	資料-6
6	室外機6	ROA-AP2807HS	有	8:30~22:00	R階部(6.4m)	資料-6
7	室外機7	ROA-AP2807HS	有	8:30~22:00	R階部(6.2m)	資料-6
8	室外機8	ROA-AP2807HS	有	8:30~22:00	R階部(6.2m)	資料-6
9	室外機9	ROA-AP2807HS	有	8:30~22:00	R階部(6.2m)	資料-6
10	室外機10	ROA-AP2807HS	有	8:30~22:00	R階部(6.2m)	資料-6
11	室外機11	ROA-AP2807HS	有	8:30~22:00	R階部(6.2m)	資料-6
12	室外機12	ROA-AP2807HS	有	8:30~22:00	R階部(6.2m)	資料-6
13	室外機13	ROA-AP2807HS	有	8:30~22:00	R階部(6.2m)	資料-6
14	冷凍冷蔵庫屋外機1	KX-R6AV1	有	終日	R階部(7.0m)	資料-6
15	冷凍冷蔵庫屋外機2	KX-R6AV1	有	終日	R階部(7.0m)	資料-6
16	冷凍冷蔵庫屋外機3	KX-RM20AM	有	終日	R階部(7.0m)	資料-6
17	冷凍冷蔵庫屋外機4	KX-RM20AM	有	終日	R階部(7.0m)	資料-6
18	排気口1	EWf-35CSA	有	8:30~22:00	1階部(4.0m)	資料-6
19	排気口2	EWf-35CSA	有	8:30~22:00	1階部(4.0m)	資料-6
20	排気口3	EWf-35CSA	有	8:30~22:00	1階部(4.0m)	資料-6
21	排気口4	EWf-35CSA	有	8:30~22:00	1階部(4.0m)	資料-6
22	キュービクル	キュービクルa	有	終日	R階部(7.1m)	資料-6

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

①昼間の等価騒音レベルの予測

騒音発生源	基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)				各予測地点における等価騒音レベル(dB)					
	騒音レベル(dB)	※根拠		A地点	B地点	C地点	D地点	A地点	B地点	C地点	D地点		
定常騒音	1	室外機1	50.0	*1	8:30~22:00	43.0	60.4	55.0	52.9	16.6	13.7	14.5	14.8
	2	室外機2	50.0	*1	8:30~22:00	84.4	57.9	26.8	20.3	10.8	14.0	20.7	23.2
	3	室外機3	58.0	*1	8:30~22:00	85.9	57.8	26.0	20.4	18.6	22.1	29.0	31.1
	4	室外機4	47.0	*1	8:30~22:00	87.3	57.8	25.2	20.6	7.5	11.1	18.3	20.0
	5	室外機5	63.3	*1	8:30~22:00	85.0	59.9	28.5	18.4	24.0	27.1	33.5	37.3
	6	室外機6	63.3	*1	8:30~22:00	86.4	59.9	27.7	18.5	23.9	27.1	33.8	37.3
	7	室外機7	63.3	*1	8:30~22:00	78.5	66.0	37.4	15.5	24.7	26.2	31.1	38.8
	8	室外機8	63.3	*1	8:30~22:00	79.9	65.7	36.5	14.8	24.5	26.2	31.4	39.2
	9	室外機9	63.3	*1	8:30~22:00	81.3	65.5	35.6	14.2	24.4	26.3	31.6	39.6
	10	室外機10	63.3	*1	8:30~22:00	77.9	68.3	39.9	14.7	24.8	25.9	30.6	39.3
	11	室外機11	63.3	*1	8:30~22:00	79.3	68.0	39.0	13.8	24.6	25.9	30.8	39.8
	12	室外機12	63.3	*1	8:30~22:00	80.7	67.7	38.1	13.0	24.5	26.0	31.0	40.3
	13	室外機13	63.3	*1	8:30~22:00	82.1	67.5	37.2	12.4	24.3	26.0	31.2	40.7
	14	冷凍冷蔵庫屋外機1	49.9	*1	終日	85.9	65.0	33.1	13.5	11.2	13.6	19.5	27.3
	15	冷凍冷蔵庫屋外機2	49.9	*1	終日	86.6	67.0	34.9	11.6	11.1	13.4	19.0	28.6
	16	冷凍冷蔵庫屋外機3	57.5	*1	終日	88.7	64.9	31.8	13.9	18.5	21.3	27.5	34.6
	17	冷凍冷蔵庫屋外機4	57.5	*1	終日	89.4	66.8	33.6	12.0	18.5	21.0	27.0	35.9
	18	排気口1	47.4	*1	8:30~22:00	87.9	74.9	42.5	3.7	7.8	9.2	14.1	35.3
	19	排気口2	47.4	*1	8:30~22:00	88.8	74.8	42.1	3.3	7.7	9.2	14.2	36.3
	20	排気口3	47.4	*1	8:30~22:00	89.7	74.7	41.7	3.2	7.6	9.2	14.3	36.6
	21	排気口4	47.4	*1	8:30~22:00	90.6	74.7	41.3	3.4	7.6	9.2	14.4	36.1
	22	キュービクル	51.0	*2	終日	76.7	60.2	33.2	20.9	13.3	15.4	20.6	24.6
変動騒音	23	搬出入車両後進警報ブザー音	90.0	*3	2台×17秒	86.5	24.7	15.8	53.3	19.0	29.8	33.7	23.2
	24	廃棄物収集車両後進警報ブザー音	90.0	*3	3台×17秒	86.5	24.7	15.8	53.3	20.8	31.6	35.5	25.0
	25	廃棄物収集作業音(圧縮)	90.0	*3	3台×240秒	87.9	36.1	8.9	42.4	32.1	39.8	52.0	38.5
	26	廃棄物収集作業音(非圧縮)	85.0	*3	3台×90秒	87.9	36.1	8.9	42.4	22.8	30.5	42.7	29.2
	27	搬出入車両アイドリング音	78.6	*3	1台×1200秒	87.9	36.1	8.9	42.4	22.9	30.6	42.8	29.3
	28	台車走行音	71.0	*3	2台×6秒×6回	88.3	44.6	12.4	34.2	3.1	9.0	20.1	11.3
衝撃騒音	29	荷下ろし音	73.1	*3	2台×10回	88.3	44.5	12.3	34.1	-	5.5	16.7	7.8
	30	搬出入車両荷台扉開音	74.8	*4	2台×1回	88.3	44.6	12.3	34.0	-	-	8.4	-
	31	搬出入車両荷台扉閉音	76.6	*4	2台×1回	88.3	44.6	12.3	34.0	-	-	10.2	1.4
	32	搬出入車両座席扉開閉音	79.5	*4	2台×2回	87.9	36.1	8.9	42.4	-	6.7	18.9	5.4
	33	搬出入車両エンジン始動音	78.7	*4	1台×1回	87.9	36.1	8.9	42.4	-	-	12.1	-
	※	来客車両走行音	74.0	*5	524台×2回	-	-	-	-	40.2	40.4	43.6	37.4
※	搬出入車両走行音	83.5	*5	2台×1~2回	-	-	-	-	14.0	24.1	29.3	18.8	
※	廃棄物収集車両走行音	83.5	*5	3台×1~2回	-	-	-	-	15.8	25.9	31.1	20.6	

昼間(午前6時~午後10時)の等価騒音レベル

地点名	用途地域	地域の類型	予測結果	環境基準値
A地点	無指定地域	B 類 型	41.9 dB	55 dB
B地点	無指定地域	B 類 型	44.8 dB	55 dB
C地点	無指定地域	B 類 型	53.9 dB	55 dB
D地点	無指定地域	B 類 型	50.7 dB	55 dB

\*1 メーカー提供データより

\*2 既存類似店舗調査結果より(等価騒音レベル)

\*3 「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き」より

\*4 既存類似店舗調査結果より(単発騒音暴露レベル)

\*5 「ASJ Model 2003」より

\*6 各予測地点における等価騒音レベル(dB)欄に示す記号「-」は、デシベルの計算上マイナスの値を示す。

<評価>

予測の結果、昼間の等価騒音レベルは全ての地点において基準値を満足するものであり、出店計画に伴い店舗から発生する騒音が周辺地域へ与える影響は少ないものと推察された。

②夜間の等価騒音レベルの予測

騒音発生源	基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)				各予測地点における等価騒音レベル(dB)					
	騒音レベル(dB)	※根拠		A地点	B地点	C地点	D地点	A地点	B地点	C地点	D地点		
定常騒音	14	冷凍冷蔵庫屋外機1	49.9	*1	終日	85.9	65.0	33.1	13.5	11.2	13.6	19.5	27.3
	15	冷凍冷蔵庫屋外機2	49.9	*1	終日	86.6	67.0	34.9	11.6	11.1	13.4	19.0	28.6
	16	冷凍冷蔵庫屋外機3	57.5	*1	終日	88.7	64.9	31.8	13.9	18.5	21.3	27.5	34.6
	17	冷凍冷蔵庫屋外機4	57.5	*1	終日	89.4	66.8	33.6	12.0	18.5	21.0	27.0	35.9
	22	キュービクル	51.0	*2	終日	76.7	60.2	33.2	20.9	13.3	15.4	20.6	24.6
変	28	台車走行音	71.0	*3	1台×6秒×6回	88.3	44.6	12.4	34.2	3.1	9.0	20.1	11.3
	29	荷下ろし音	73.1	*4	1台×10回	88.3	44.5	12.3	34.1	-	5.5	16.7	7.8
衝撃騒音	30	搬出入車両荷台扉開音	74.8	*4	1台×1回	88.3	44.6	12.3	34.0	-	-	8.4	-
	31	搬出入車両荷台扉閉音	76.6	*4	1台×1回	88.3	44.6	12.3	34.0	-	-	10.2	1.4
	32	搬出入車両座席扉開閉音	79.5	*4	1台×2回	87.9	36.1	8.9	42.4	-	6.7	18.9	5.4
	33	搬出入車両エンジン始動音	78.7	*4	1台×1回	87.9	36.1	8.9	42.4	-	2.9	15.1	1.6
	※	来客車両走行音	74.0	*5	76台×1回	-	-	-	-	31.8	32.0	35.2	29.0
※	搬出入車両走行音	83.5	*5	1台×1~2回	-	-	-	-	14.0	24.1	29.3	18.8	

夜間(午後10時～午前6時)の等価騒音レベル

地点名	用途地域	地域の類型	予測結果	環境基準値
A地点	無指定地域	B 類 型	32.4 dB	45 dB
B地点	無指定地域	B 類 型	33.4 dB	45 dB
C地点	無指定地域	B 類 型	37.6 dB	45 dB
D地点	無指定地域	B 類 型	39.6 dB	45 dB

変：変動騒音を示す。

\*1 メーカー提供データより

\*2 既存類似店舗調査結果より (等価騒音レベル)

\*3 「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き」より

\*4 既存類似店舗調査結果より (単発騒音暴露レベル)

\*5 「ASJ Model 2003」より

\*6 各予測地点における等価騒音レベル (dB)欄に示す記号「-」は、デシベルの計算上マイナスの値を示す。

<評価>

予測の結果、夜間の等価騒音レベルは全ての地点において基準値を満足するものであり、出店計画に伴い店舗から発生する騒音が周辺地域へ与える影響は少ないものと推察された。

1.1 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

＜小売店舗において、夜間（午後10時～午前6時）において発生することが見込まれる騒音＞

騒音発生源	基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)				各予測地点における騒音レベル(dB)					
	騒音レベル(dB)	※根拠		a地点	b地点	c地点	d地点	a地点	b地点	c地点	d地点		
定常騒音	14	冷凍冷蔵庫屋外機1	49.9	*1	終日	70.3	49.9	33.1	11.8	13.0	15.9	19.5	28.5
	15	冷凍冷蔵庫屋外機2	49.9	*1	終日	71.1	51.9	34.9	9.8	12.9	15.6	19.0	30.1
	16	冷凍冷蔵庫屋外機3	57.5	*1	終日	73.1	49.7	31.8	12.1	20.2	23.6	27.5	35.8
	17	冷凍冷蔵庫屋外機4	57.5	*1	終日	73.9	51.7	33.6	10.3	20.1	23.2	27.0	37.2
	22	キュービクル	51.0	*2	終日	60.9	45.6	33.2	19.3	15.3	17.8	20.6	25.3
変動騒音	28	台車走行音	77.0	*3	1台×6秒×6回	71.6	29.5	12.4	32.6	39.9	47.6	55.1	21.7
	29	荷下ろし音	76.9	*4	1台×10回	71.6	29.5	12.3	32.5	39.8	47.5	55.1	21.7
	30	搬出入車両荷台扉開音	77.1	*4	1台×1回	71.6	29.5	12.3	32.4	40.0	47.7	55.3	21.9
	31	搬出入車両荷台扉閉音	78.4	*4	1台×1回	71.6	29.5	12.3	32.4	41.3	49.0	56.6	23.2
	32	搬出入車両座席扉開閉音	81.1	*4	1台×2回	71.1	21.0	8.9	40.7	44.1	54.7	62.1	29.4
	33	搬出入車両エンジン始動音	80.7	*4	1台×1回	71.1	21.0	8.9	40.8	43.7	54.3	61.7	25.0
	※	来客車両走行音	74.0	*5	76台×1回	1.8	1.8	9.5	55.2	68.9	68.9	54.4	39.2
※	搬出入車両走行音	83.5	*5	1台×1～2回	54.0	1.8	9.5	59.6	48.9	78.4	63.9	31.0	

夜間(午後10時～午前6時)の騒音レベル最大値

地点名	用途地域	区域の区分	基準値
a地点	無指定地域	第2種区域	45dB
b地点	無指定地域	第2種区域	45dB
c地点	無指定地域	第2種区域	45dB
d地点	無指定地域	第2種区域	45dB

変：変動騒音を示す。

\*1 メーカー提供データより

\*2 既存類似店舗調査結果より（等価騒音レベル）

\*3 「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き」より

\*4 既存類似店舗調査結果より（騒音レベル最大値）

\*5 「ASJ Model 2003」より

予測の結果、a～c地点において基準値を上回ることが予測された。

■大規模小売店舗から近接した住居側

計画地の敷地境界上において、規制基準値を上回ることが予測されたため、騒音発生源から近接して立地する保全対象側（A地点）で再予測を行った結果、基準値を上回ることが予測された。

建物敷地北側（A地点）の超過騒音は出入口付近で発生する帰宅車両走行音であり、帰宅車両は十分な徐行運転と一旦停止がなされることから、予測値と比して騒音の影響は低減されることが見込まれる。

搬出入車両走行音は、搬入車両は場内の最徐行走行（5km/h以下）の厳守を業者に指導・徹底するとともに、作業員には騒音防止の意識を徹底させることで、徐行運転時の算出値を用いて評価した結果、次に表すとおり基準値を満足する。

現在、建物敷地東側、南側、西側には農地があり、夜間には生活圏がないことから騒音の影響は少ないものと考えられる。

将来、住居等が立地し、苦情等が発生した際には、遮音壁の設置や荷さばき時間の再考など発生源対策を含め、誠意を持って対応いたします。

A地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源			基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
番号	機器名称	高さ						
※	来客車両走行音 (線分番号2-1)	0.6	74.0	48.8	33.8	-	40.2	45
※	来客車両走行音 (線分番号2-2)	0.6	74.0	40.7	32.2	-	41.8	
※	来客車両走行音 (線分番号2-3)	0.6	74.0	32.6	30.3	-	43.7	
※	来客車両走行音 (線分番号3-1)	0.6	74.0	28.0	28.9	-	45.1	
※	来客車両走行音 (線分番号3-2)	0.5	74.0	27.0	28.6	-	45.4	
※	来客車両走行音 (線分番号3-3)	0.4	74.0	26.5	28.5	-	45.5	
※	来客車両走行音 (線分番号4-1)	0.4	74.0	24.8	27.9	-	46.1	
※	来客車両走行音 (線分番号4-2)	0.2	74.0	21.6	26.7	-	47.3	
※	来客車両走行音 (線分番号4-3)	0.1	74.0	18.4	25.3	-	48.7	
※	来客車両走行音 (線分番号5-1)	0.4	74.0	26.6	28.5	-	45.5	
※	来客車両走行音 (線分番号5-2)	0.5	74.0	27.7	28.8	-	45.2	
※	来客車両走行音 (線分番号5-3)	0.6	74.0	30.0	29.5	-	44.5	
※	来客車両走行音 (線分番号6-1)	0.6	74.0	33.1	30.4	-	43.6	
※	来客車両走行音 (線分番号6-2)	0.6	74.0	36.8	31.3	-	42.7	
※	来客車両走行音 (線分番号7-1)	0.4	74.0	29.8	29.5	-	44.5	
※	来客車両走行音 (線分番号7-2)	0.5	74.0	36.6	31.3	-	42.7	
※	来客車両走行音 (線分番号7-3)	0.6	74.0	43.5	32.8	-	41.2	
※	搬出入車両走行音 (線分番号1-1)	0.6	83.5	86.8	38.8	-	44.7	
※	搬出入車両走行音 (線分番号1-2)	0.6	83.5	87.3	38.8	-	44.7	
※	搬出入車両走行音 (線分番号1-3)	0.7	83.5	87.9	38.9	-	44.6	
※	搬出入車両走行音 (線分番号2-1)	0.6	83.5	87.5	38.8	-	44.7	
※	搬出入車両走行音 (線分番号2-2)	0.6	83.5	87.1	38.8	-	44.7	
※	搬出入車両走行音 (線分番号2-3)	0.6	83.5	86.6	38.8	-	44.7	
※	搬出入車両走行音 (線分番号3-1)	0.6	83.5	70.8	37.0	-	46.5	
※	搬出入車両走行音 (線分番号3-2)	0.6	83.5	77.7	37.8	-	45.7	
※	搬出入車両走行音 (線分番号3-3)	0.6	83.5	84.5	38.5	-	45.0	

A地点における騒音レベル最大値の予測結果（対策後）

騒音発生源			基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
番号	機器名称	高さ						
※	来客車両走行音（線分番号2-1）	0.1	69.0	48.8	33.8	-	35.2	45
※	来客車両走行音（線分番号2-2）	0.1	69.0	40.7	32.2	-	36.8	
※	来客車両走行音（線分番号2-3）	0.6	69.0	32.6	30.3	-	38.7	
※	来客車両走行音（線分番号3-1）	0.1	69.0	28.0	28.9	-	40.1	
※	来客車両走行音（線分番号3-2）	0.1	69.0	27.0	28.6	-	40.4	
※	来客車両走行音（線分番号3-3）	0.6	69.0	26.5	28.5	-	40.5	
※	来客車両走行音（線分番号4-1）	0.1	69.0	24.8	27.9	-	41.1	
※	来客車両走行音（線分番号4-2）	0.1	69.0	21.6	26.7	-	42.3	
※	来客車両走行音（線分番号4-3）	0.6	69.0	18.4	25.3	-	43.7	
※	来客車両走行音（線分番号5-1）	0.1	69.0	26.6	28.5	-	40.5	
※	来客車両走行音（線分番号5-2）	0.1	69.0	27.7	28.8	-	40.2	
※	来客車両走行音（線分番号5-3）	0.6	69.0	30.0	29.5	-	39.5	
※	来客車両走行音（線分番号6-1）	0.1	69.0	33.1	30.4	-	38.6	
※	来客車両走行音（線分番号6-2）	0.1	69.0	36.8	31.3	-	37.7	
※	来客車両走行音（線分番号7-1）	0.1	69.0	29.8	29.5	-	39.5	
※	来客車両走行音（線分番号7-2）	0.1	69.0	36.6	31.3	-	37.7	
※	来客車両走行音（線分番号7-3）	0.6	69.0	43.5	32.8	-	36.2	
※	搬出入車両走行音（線分番号1-1）	0.6	78.6	86.8	38.8	-	39.8	
※	搬出入車両走行音（線分番号1-2）	0.6	78.6	87.3	38.8	-	39.8	
※	搬出入車両走行音（線分番号1-3）	0.6	78.6	87.9	38.9	-	39.7	
※	搬出入車両走行音（線分番号2-1）	0.6	78.6	87.5	38.8	-	39.8	
※	搬出入車両走行音（線分番号2-2）	0.6	78.6	87.1	38.8	-	39.8	
※	搬出入車両走行音（線分番号2-3）	0.6	78.6	86.6	38.8	-	39.8	
※	搬出入車両走行音（線分番号3-1）	0.6	78.6	70.8	37.0	-	41.6	
※	搬出入車両走行音（線分番号3-2）	0.6	78.6	77.7	37.8	-	40.8	
※	搬出入車両走行音（線分番号3-3）	0.6	78.6	84.5	38.5	-	40.1	

1.2 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

(1) 廃棄物等の排出量等の予測

(小数点第3位以下四捨五入)

廃棄物種別	店舗面積		1日あたり廃棄物排出量 (指針原単位×S)	平均保管日数	見かけ比重(t/m <sup>3</sup> )	指針による保管容量
		S	A	B	C	A×B÷C
紙製廃棄物等	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.417千m <sup>2</sup>	0.294736 t (0.208×1.417)	1日	0.10	2.95m <sup>3</sup>
金属製廃棄物等	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.417千m <sup>2</sup>	0.009919 t (0.007×1.417)	1日	0.10	0.10m <sup>3</sup>
ガラス製廃棄物等	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.417千m <sup>2</sup>	0.008502 t (0.006×1.417)	1日	0.10	0.09m <sup>3</sup>
プラスチック製 廃棄物等	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.417千m <sup>2</sup>	0.028340 t (0.020×1.417)	1日	0.01	2.83m <sup>3</sup>
生ゴミ等	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.417千m <sup>2</sup>	0.239473 t (0.169×1.417)	1日	0.55	0.44m <sup>3</sup>
その他の可燃性 廃棄物等		1.417千m <sup>2</sup>	0.076518 t (0.054×1.417)	1日	0.38	0.20m <sup>3</sup>
合 計						6.61m <sup>3</sup>

(2) 指針の計算式によらない場合  
該当なし

### 1.3 添付書類のほか必要に応じて提出を要請する書類等

#### 1 廃棄物減量化及びリサイクルの推進 指針二1 (3)

<p>【廃棄物減量化】 過剰包装・梱包の抑制による廃棄物の低減化を図る。</p> <p>【リサイクル計画】 商品梱包用段ボールや空き缶を分別保管し、業者に依頼して再資源化を図る。</p>
---

#### 2 駐車場の防音対策 指針二2 (1) ①ハ

駐車場No.	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
駐車場	・特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープン時など混雑が見込まれる際には、交通整理員を配置して場内走行の円滑化を図り、渋滞による騒音の発生を抑制する。</li> <li>・駐車場利用時間以外には、駐車場出入口をバリカー等で閉鎖し、外部からの侵入者が騒音を発生することがないように配慮する。</li> <li>・来店者にアイドリング禁止を呼びかける。</li> <li>・場内では十分な徐行と一旦停止がなされるよう看板にて注意を喚起する。</li> </ul>

#### 3 廃棄物収集作業に係る騒音対策 指針二2 (1) ①ハ

廃棄物回収場所の構造	回収時間帯	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
廃棄物等保管施設 (建物内)	8:00~18:00	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝、夜間には回収を行わない。</li> <li>・ゴミの排出量を減らし、収集時間を短縮できるよう努める。</li> <li>・業者には騒音抑制の意識を徹底させ、必要以外のエンジンの空ぶかしは行わないよう協力を要請する。</li> </ul>

#### 4 駐輪場の算出根拠 指針二1 (1) ③

項目	予測数値	予測数値の根拠等												
①ピーク時自動車来店台数	76台	大店立地法指針の算定式より												
②来店自動車台数に対する自転車の割合	16.8%	<p>「令和3年度全国都市交通特性調査集計結果」から鳥取市が該当する地方都市圏における私用目的(買物)分担率より、平日の値を用いると、</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>自動車(a)</th> <th>自転車(b)</th> <th>(a)に対する(b)の割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平日</td> <td>66.1%</td> <td>11.1%</td> <td>16.8%</td> </tr> <tr> <td>休日</td> <td>80.0%</td> <td>6.1%</td> <td>7.6%</td> </tr> </tbody> </table>		自動車(a)	自転車(b)	(a)に対する(b)の割合	平日	66.1%	11.1%	16.8%	休日	80.0%	6.1%	7.6%
	自動車(a)	自転車(b)	(a)に対する(b)の割合											
平日	66.1%	11.1%	16.8%											
休日	80.0%	6.1%	7.6%											
③平均駐輪時間係数	0.6299	大店立地法指針の算定式より												
必要駐輪台数	8台	①×②×③ (端数処理:四捨五入)												

5 廃棄物等の保管、運搬、処理対策 指針二2 (2)

(1) 保管場所の位置・構造等

廃棄物種別	分別する種類	施設面積	施設容量	管理上の対策			図面No.
				悪臭発散防止対策	汚水流出防止対策	その他	
紙製廃棄物等	ダンボール	2.39m <sup>2</sup>	3.58m <sup>3</sup>	・密閉容器確保された構造としている	・特になし	・特になし	資料-8参照
金属製廃棄物等	スチール缶 アルミ缶	0.19m <sup>2</sup>	0.28m <sup>3</sup>				
ガラス製廃棄物	ビン類	0.18m <sup>2</sup>	0.27m <sup>3</sup>				
プラスチック製廃棄物	ペットボトル	2.37m <sup>2</sup>	3.55m <sup>3</sup>				
生ごみ等	生ごみ等	1.52m <sup>2</sup>	2.28m <sup>3</sup>				
その他の可燃性廃棄物	紙くず等	1.15m <sup>2</sup>	1.72m <sup>3</sup>				
その他	-	-	-				
計		7.80m <sup>2</sup>	11.68m <sup>3</sup>				

(2) 廃棄物等の運搬方法

項目	紙製廃棄物等	金属製廃棄物等	ガラス製廃棄物等
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
収集車の種類	4 tパッカー車	4 tパッカー車	4 tパッカー車
予定業者等	鳥取市許可業者	鳥取県許可業者	鳥取県許可業者
運搬の頻度	1回/日	1回/日	1回/日

項目	プラスチック製廃棄物	生ごみ等	その他可燃性廃棄物
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
収集車の種類	4 tパッカー車	4 tパッカー車	4 tパッカー車
予定業者等	鳥取県許可業者	鳥取市許可業者	鳥取市許可業者
運搬の頻度	1回/日	1回/日	1回/日

※収集業者はオープン日の1ヶ月前に決定予定。

(3) 廃棄物等の処理方法

項目	紙製廃棄物等	金属製廃棄物等	ガラス製廃棄物等
処理の方法	リサイクル	リサイクル	リサイクル
処理予定業者等	未定	未定	未定
敷地内処理の場合	該当なし	該当なし	該当なし

項目	プラスチック製廃棄物	生ごみ等	その他可燃性廃棄物
処理の方法	リサイクル	敷地外処理	敷地外処理
処理予定業者等	未定	リンピアいなば	リンピアいなば
敷地内処理の場合	該当なし	該当なし	該当なし

※処理業者はオープン日の1ヶ月前に決定予定。

## 6 街並みづくりへの調和 指針二 2 (3)

### (1) 街並みづくり等への配慮事項

- ・外壁等の色彩について刺激的な色彩を避け、周辺の環境との調和を図る。
- ・景観に関して鳥取市景観計画の景観づくりの基準に従い、鳥取市都市整備部都市企画課に届出を行う。
- ・屋外広告物は、鳥取市屋外広告物条例に基づき鳥取市都市整備部都市企画課と協議を行い、鳥取市長の許可を受けて設置する。

### (2) 敷地内の緑化計画

敷地面積	緑化面積	緑化の方法
4,847㎡	106㎡	・鳥取市景観計画の規制・基準に従い、鳥取市都市整備部都市企画課と協議を行う(植樹内容は未定)。 別添「資料-3 平面図兼配置図」参照

### (3) 景観への配慮

- ・建物の色彩やデザインは、鳥取市景観形成条例を遵守して、周辺地域の景観に配慮したものとする。  
別添「資料-9 立面図」参照

### (4) その他

- ・大規模店舗立地誘導条例に基づき、鳥取県生活環境部くらしの安心局まちづくり課と協議中である。

## 7 夜間照明施設の配置 指針二 2 (3)

	屋外照明	広告塔照明
照明灯の配置	未定	未定
照明灯の方向	駐車場内下向きに照射	広告塔方向下向きに照射
照明の強さ	未定	未定
点灯時間	日没～閉店後30分まで	
光害対策	・周辺近隣に対して光害を発生させないように照明の配置、方向、光源の種類には十分に配慮する。	

## 8 防災・防犯対策への協力 指針二 1 (4)

### (1) 防災計画への協力

防災協定等	締結協定の内容
締結依頼	・地方公共団体から格段の要請はないが、災害時の避難場所として駐車場等敷地の一部の使用、若しくは、店舗で扱っている物資の緊急時における提供について、要請があれば協議検討のうえ協力する。
締結済	

### (2) 防犯対策への協力

駐車場内の照明の設置	・適切な照明設備を配置することで駐車場内の死角を排除し、青少年の蟻集を抑制する。
警備員の巡回等	・従業員による定期的な店内巡回や声かけを行うことで、防犯に努める。
閉店後及び休業日における店舗施設内の措置等	・閉店後には、店舗周辺部や駐車場がたまり場となることを防止するため、駐車場出入口をバリカー等で閉鎖する。
周辺地域での防犯や青少年の非行防止のための対策	・従業員による店内及び駐車場内の巡回や声かけ等により、青少年の蟻集を防ぐよう配慮する。 ・店舗内における犯罪や少年非行防止の観点から、見通しを確保した商品陳列、店舗内外へ向けて設置する防犯カメラによって万引き防止等の防犯対策を講じる。
その他防犯対策	・防犯責任者を設置するとともに、警察署との連携が図れるよう緊急時の防犯体制を整備する。

## 9 地域貢献策 指針二2(3)

- ①従業員の採用にあたっては、地域から優先的に雇用する。
- ②定期的に店舗周辺の清掃活動に取り組む。
- ③地域の祭りや各種行事について地域自治会から申し出があれば、協力を検討する。
- ④万一閉鎖を余儀なくされた場合においては、「早期の情報提供」、「従業員雇用の確保」、「取引先企業に対する対応」、「店舗閉鎖に伴う環境悪化の防止」など適切に対応する。